

射水市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画（素案）のパブリックコメントについて

1 （素案）に対する意見等の概要及び考え方

(1) 意見募集期間等

- ・ 募集期間 令和5年12月15日（月）～令和6年1月15日（月）
- ・ 意見提出者 14名（18件）

(2) 意見の概要等

| No. | 対象箇所等 | 意見等の概要 | 意見等に対する考え方 | 修正 |
|-----|--------------------------------|--|--|----|
| 1 | 3 他計画との関連・計画策定の期間 (P4) | 各期間を明記することによって市民に理解しやすいものになると考える。 | 関連する他計画について計画期間を追記しました。 | 有 |
| 2 | 3 他計画との関連・計画策定の期間 (P4) | 県が作成している計画は矢印の種類を変えた方が良い。 | 県で策定される計画について、矢印の種類を変更しました。 | 有 |
| 3 | (1) 高齢者人口の推移と将来推計 (P11) | 引用文献名は正確・適正な名称を明記すること。著作物の公正な利用を確保することで文化の発展に貢献する。 | 引用文献を「第2期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略人口推計」と訂正しました。 | 有 |
| 4 | (1) 高齢者人口の推移と将来推計 (P11) | もっとイラストや表、図を取り入れた方が良い。 | 高齢者一人を支えるのに必要な生産年齢人口の人数をイラストで表しました。 | 有 |
| 5 | ア 認知症に関する理解促進・本人発信支援 (P70) | 登録のための条件や取り組むべき内容についての記載があると良い。 | 認知症を正しく理解し、できる範囲でやさしい対応に取り組んでいただきます。認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の人にやさしいまちづくりに賛同していただいた事業所が申請により登録されます。（用語集に追加） | 有 |
| 6 | ウ 利用者の安全確保・リスクマネジメント推進支援 (P90) | B C P について説明があると良い。 | B C P とは業務継続計画のことです。感染症や自然災害が発生した場合でも介護サービスが安定的・継続的に提供されるよう支援してまいります。（用語集に追加） | 有 |
| 7 | 全体 | 計画の推進にはバックキャスティング型のプロセスを取り入れることも重要と考える。 | 第9期計画期間だけでなく、団塊ジュニアの世代が65歳を迎える令和22年を見通して計画を作成しています。 | 無 |

| | | | | |
|----|---|---|--|---|
| 8 | ウ 地域ぐるみの介護 予防活動の支援 (P57) | きららか射水100 歳体操の参加率を上げる には、ポスターや地域 住民の呼びかけが良い と考える。 | ポスターでの啓発のほか、CATV、 YouTube、コミュニティバスのデジタルサ イネージ放送等による周知を行っていま す。また、地域包括支援センターによる地 域住民への呼びかけや、「100歳体操マスタ ー養成講座」参加者による各地域での普及 啓発にも取り組んでいます。今後も、きら らか射水100歳体操の輪を広げ、介護予防 につながるよう、周知に努めてまいりま す。 | 無 |
| 9 | ア 自主的な社会貢献 活動の促進 (P60) | ボランティアの周知 を広げると良い。 | 地域支え合いネットワーク事業におい て、「ささえあい かわら版」や普及啓発動 画を通じて地域におけるボランティア活 動の周知を行っています。 | 無 |
| 10 | ア 在宅生活の支援 (P62) | 在宅介護者の身体的、 精神的負担軽減のため、 介護ロボット、AIなど 介護現場で活用してい るものを貸し出すサー ビスがあれば良い。 | 最新の介護ロボット、ICT、AI技術 を使った在宅生活の支援について検討し てまいります。 | 無 |
| 11 | (2) 家族介護者への 支援の充実 (P63,64) | 認知症高齢者を在宅 介護する場合の家族へ の支援があると良い。 | 家族介護教室、認知症カフェ、認知症の 人と家族への一体的支援事業等において、 介護用品や認知症の人に対する接し方等 について家族介護者への情報提供や相談 支援を行っています。 | 無 |
| 12 | ア 高齢者の見守り活 動の推進 (P65) | ICTについての説 明があると良い。 | ICTとは情報通信技術のことです。イン ターネットを活用し業務の効率化を進 めます。(用語集に記載済) | 無 |
| 13 | ア 認知症に関する理 解促進・本人発信支援 (P70) | 認知症の人と家族へ の一体的支援事業は、ど のようなプログラムを 実施するのか。 | 認知症の人と家族と一緒に参加し、他の 家族の方々や専門職と新たに出会い、自由 に話し合ったりともに活動したりする中 で、家族の関係性を学びあう事業です。あ らかじめ活動内容を決めず、参加された本 人の意見を尊重した活動を行っています。 | 無 |
| 14 | イ 地域包括支援セン ターの業務負担軽減・ 体制整備 (P75) | 地域包括支援センタ ーに寄せられる悩みと は何か。相談先が一目で わかるものがあると良 い。 地域包括支援センタ ーは地区で1か所のみ か。 | 地域包括支援センターで受ける相談は 「介護保険の利用開始」、「介護保険利用中 のサービス内容」、「認知症」、「権利擁護」 に関する内容等です。所在地は17ページ に記載しています。 概ね日常生活圏域ごとに1か所の地域 包括支援センターを設置しています。高齢 者人口が5,000人を超える圏域には、配置 する職員数を増やし、体制を強化していま す。引き続き電話、訪問等により丁寧な相 談支援を行っています。 | 無 |

| | | | | |
|----|--------------------------------|---|--|---|
| 15 | ア 事業所運営の効率化、生産性向上支援 (P90) | 介護ロボットやAIに関する講義を受講してから導入すると、効率よく作業ができ、サービスの質も向上すると考える。 仕事の負担が減り、仕事にプライドを持てるようになれば離職率は減少すると考える。 | 事業所が介護ロボット、AI、ICT等の導入及び活用がしやすくなるような支援を進めてまいります。 | 無 |
| 16 | イ 介護保険制度等に関する情報提供の充実 (P90) | 高齢者支援のシステムや支援の存在を周知する工夫が必要と考える。 | 介護保険制度や高齢者福祉サービス、地域包括支援センター等の相談窓口について、ポスターの掲示やパンフレットの配布、市報、ホームページ、出前講座等により引き続き周知に努めてまいります。 | 無 |
| 17 | (4) 人材の確保及び質の向上 (P91) | 地域密着型サービスの更なる普及は介護人材が不足している現状では、介護ニーズに柔軟に対応できない。現状をどう解決するのか。 | 介護職を目指す学生への支援や離職防止のための取組、外国人材の活用支援など目的に合わせた取組を行ってまいります。 | 無 |
| 18 | オ 働き先として選ばれる福祉事業所づくりへの支援 (P92) | 介護職場のイメージアップをどのように発信するか具体的に示すと良い。 | 具体的な魅力発信については、今後、富山福祉短期大学等と連携を図りながら検討してまいります。 | 無 |
| | 計画に記載のない意見 | 男性自殺者の死亡原因は何か | 自殺者の原因・動機別では、男女ともに「健康問題」が最も多く、特に、男性では「経済・生活問題」「勤務問題」の割合が高くみられます。こころの健康づくりについての正しい知識の普及啓発とともに、専門機関との連携を図り、相談体制の充実に努めます。 詳細は、「射水市いのちを支える自殺対策推進計画」をご覧ください。 | 無 |